ふり返ろう　6 土地のつくり／地震や火山と災害

学習したこと

土地と地層

●**地層**は、１つ１つの層が、れき、砂、どろなどの大きさのちがうつぶや色のちがうつぶでできている。流れる水のはたらきによって土が運ぱんされてできた地層は、れき、砂、どろに分かれてたい積してできたと考えられる。

●たい積したれきや砂、どろなどの層が固まってできた岩石を、**たい積岩**といい、たい積岩には、**れき岩**、**砂岩**、**でい岩**などがある。

●火山のふん火によって火山灰が降り積もってできた地層もある。

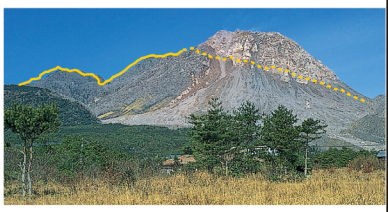
●地層の中に残された動物や植物の死がい、それらの生活のあとを**化石**という。

地震や火山と災害

●地震によって、山くずれが発生し、土地の様子が大きく変化し、災害が生じることがある。
土地に大きい力が加わってできた土地のずれを**断層**という。

●火山の活動によって、地面に火山灰が降り積もり、土地の様子が大きく変化し、災害が生じることがある。

ふん火する前（1988年11月）


ふん火したあと（1995年2月）

新しく学習した言葉

■地層　■たい積岩　■れき岩　■砂岩　■でい岩
■化石　■断層